

## RUBeC 演習に参加して

三木 健司

Kenji MIKI

物質化学専攻修士課程 1年

### 1. はじめに

私は2018年8月18日～9月3日の間、RUBeC演習に参加した。RUBeC演習の授業は、アメリカカリフォルニア州バークレーにある Jodo Shinshu Center という施設にて行われた。1コマ2時間半の授業は、午前を受けた Technical Writing と午後を受けた Presentation の2つがあった。もちろん授業は全て英語で行われた。授業に参加する2週間、現地の方のお宅でホームステイをしてアメリカの家庭の文化にも触れた。また、水曜日にはキーサイト・テクノロジー社(1週目)と UC Davis (2週目)を訪れた。休日はサンフランシスコ周辺の観光地をあちこち巡って過ごした。私がこの RUBeC 演習で経験したことについて紹介したいと思う。

### 2. 授業について

#### 2.1 Technical Writing

この授業では、学会等で提出する英語の要旨を完成させることを目標に、日本人が間違いやすい冠詞や接続詞について学んだ。プリントが配られて、そこにある問題をたくさん解いたりしてとにかく練習した。また、自己紹介文や自分で選んだテーマについて短い文章を書き、生徒間で交換したり先生に提出して訂正してもらい、文章を完成させるといった練習も行った。最終日には自分の研究テーマ(要旨に書いたこと)について3分間1対1でトークをして、聞き手はその要点を聞き取ってまとめるという練習も行った。短い時間ではあったが、他学科の友達の研究テーマを1対1で聞かせてもらったことはとても新鮮でよかったと思う。後のプレゼンテーションの授業では最終日にみんなの前で発表したが、友達の発表を聞く時にもこの3分間トークのおかげ

でより理解できたと思う。

#### 2.2 Presentation

この授業では、学会等で自分の研究成果を英語で発表出来るようになることを目標に、プレゼンに必要なスキルを学んだ。ここでは、英語での発表を上手にできるようになるための練習とともに、発表する時の姿勢や、観客の気を引くテクニックなども学んだ。具体的には、アクセントの位置を意識した単語の発音の練習、チョンキングなどの文章の発音の流れなどを学び、練習した。最終日には自分の研究について6分間でプレゼンテーションを行い、そこで各自の研究の成果と練習の成果を発表した<sup>\*1</sup>。

### 3. 企業訪問について

#### 3.1 キーサイト・テクノロジー

1週目の企業訪問では、バークレーから車で1時間ほどの所にあるカリフォルニア州サンタ・ローザにあるキーサイトを訪問した。キーサイト・テクノロジーは、世界に誇る技術力を持っているとともに、大変厳しい耐久試験によって保証された製品の丈夫さと手厚いアフターサービスによって培ってきた顧客からの厚い信頼が特徴の会社であることを学んだ。さらにキーサイトは、社員へのサポートも手厚く世界に先駆けて働きやすい環境づくりに力を入れていることも知った。

#### 3.2 UC Davis

2週目の訪問では、バークレーから車で1時間半ほどのデービス市にあるカリフォルニア大学デービス校に行った。もともとは農学が盛んで広大な農薬用の土地を有しており、ワインのブドウ園や牧場もあった。化学が関わる分野では、触媒に関する分野や、バイオナノ分野、有機エレクトロニクス分野、半導体分野の研究が精力的に行われていることを知った。さらに、環境に優しい技術の開発のため環境分野の研究も盛んにおこなわれており、実用的な材料、技術、システム等の開発のためには、幅広い分

野の間での連携や、実用段階に至れば企業との連携も重要になってくるため、分野の壁を超えた交流や企業との交流、さらにそれらの間での共同研究開発も盛んにおこなわれていることも知った。

#### 4. ホームステイについて

授業に参加する2週間、Jodo Shinshu Center から電車とバスを乗り継いで約45分の所にある現地の方のお宅でホームステイをした。基本的に朝食と夕食はホームステイ先で食べた。食事中には、日本の文化とアメリカの文化の違いや日本の政治情勢などのようなまじめな話から映画や音楽といったカジュアルな話まで、辞書などを使いながらいろいろなことを話した。観光についてのアドバイスをしてくださったり少し距離のあるサクラメントに行きたいと言った時には電車のチケットも取ってくださったりと、とても親切な方だった\*2。

#### 5. 休日の観光

休日はサンフランシスコ周辺や、カリフォルニア州の州都であるサクラメントを観光してすごした。サンフランシスコの観光では、有名どころであるゴールデンゲートブリッジやフィッシャーマンズワーフ、ケーブルカーなどに行った。この時期のサンフランシスコは午後になると太平洋側から霧が流れ込んできて、午後3時頃にはゴールデンゲートブリッジや市内の高層ビルのでっぺんは霧に覆われて見えなかった。さらに、日が沈む頃には気温がぐっと下がり、昼は半袖で過ごしていたが夜は1枚羽織るものがないと寒くてしかたがなかった。それに対して内陸部に位置するサクラメントはとても暑く、半袖でないと暑くてしかたがなかった。またサクラ

メントは州都であることもあり、街並みがかなりきれいだっただ。これには感動するほどだった。サクラメントには、鉄道の歴史を学べる鉄道博物館があり、アメリカの鉄道の歴史を感じながら学んできた。アメリカの鉄道は、とにかく大きかった。展示物の中には最新の鉄道を代表して日本の東北新幹線の運転を体験できるシミュレーターがあった。日本の新幹線を誇りに思った。

#### 6. RUBeC 演習に参加して

今回 RUBeC 演習に参加して私は、英語を学ぶだけでなく、アメリカの文化にも触れて学んだ。いままでは英語は、学校で学ぶ科目であり、それが出来れば受験や資格で成功するか、ときどき観光地で海外からの観光客に何か聞かれたときに答えられる程度のもので、という意識が強かった。しかし、たった2週間でも、英語で日々過ごしている場所に入るとその意識は一変した。英語のネイティブスピーカーは、英語で気持ちを通わせているということを実感した。今までの日本の英語教育のシステムに強い疑問を感じるほどだった。英語を聞いて、読んで問題に答えるだけでなく、自分の気持ちを英語にして発する練習が決定的に欠けていると痛感した。今後は、資格試験などの対策をしながらも、英語は言語であり、それを使っている人々は英語によって気持ちを通わせているということも意識していきたいと思う。

※1 もともと人前で発表することが苦手で、発表本番もとても緊張したが、この授業で発表する練習を繰り返したことで、少し自信がついたと思う。

※2 おかげ様で、とても楽しく充実した時間を過ごすことができた。